

第六類 第一號

(二〇七)

第七十五回帝國議會
衆議院

昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件 委員會會議錄(速記)第二十回

會議

昭和十五年三月二十一日(木曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事宇賀 四郎君 理事池本甚四郎君

理事鶴 惣市君

池田 清秋君

釘本 衛雄君

八角 三郎君

小谷 節夫君

河合 義一君

田中 源君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

大藏書記官 前田 克己君

陸軍主計大佐 森田 親三君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 阿部 勝雄君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件委員會會議錄(速記)第二十回

ル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)
支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
外國爲替管理法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○紫安委員長 是ヨリ開會致シマス——宇賀君

○宇賀委員 一時賜金ニ付キマシテハ尙ホ二三御説明ヲ願ヒタイ點ガアリマスカリ承リマスガ、昭和十二年十月一日陸軍省告示三十九號、シレカラ海軍省告示十五號ニ依リマシテ支給スル死役者特別賜金賜與規程ニ依リマシテ、今日マデ既ニ御下賜ニナリマシタ金額ハ、陸軍ト海軍デドノ位ノ金額ニナツテ居リマスカ、ソレカラ此ノ金額ハ豫算ニ計上シテアルノデアルカ、豫算ニ計上シテナイノデアルカ、若シモ豫算ニ計上シテアルナラバ何處ニ計上シテアルノカ、軍事費ノ中カラ之ヲ支拂ツテ居ルノデアルカドウカ、其ノ點ヲ御尋致シマス

○武井政府委員 只今御尋ノ點ハ金高ノ合計ヲ引調ベテゴザイマセスノデ今申上ゲ兼ネマスガ、員數ハ申上ゲラレマス、ソレカラ豫算ハ臨時軍事費ニ計上シテゴザイマス、若シ員數ヲ申上ゲタガ宜シケレバ申上ゲ

マスガ……

○宇賀委員 員數ダケヲ御聽致シマセウ

○武井政府委員 今ノ數ハ後程申上ゲマス

○谷口政府委員 今ノ宇賀サンノ御質問デアリマスガ、戰役者ニ對スル特別賜金ハ、昭和十五年二月末現在ニ於キマシテ三千七百六十四万七千二百七十五圓、是ハ交付公債

アリマス、隨ヒマシテ是ハ利息ダケガ豫算ニ載ルト云フ關係デアリマシテ、法律ニ依ツテ公債ノ交付ガ出來ルト云フデアリマス、只今申上ゲマシタ外ニ三分半利付國庫債券ヲ買入レテ交付シマシタ、詰リ現金交付シタモノニ當リマスカ、モノガ四千七百三十七千三百圓デアリマス

○宇賀委員 是ハ陸海軍合シテデスカ

○谷口政府委員 左様デゴザイマス

○武井政府委員 今保留シマシタ海軍ノ發令濟ノ死役者數ハ約二千二百人デアリマス

○森田政府委員 陸軍ノ發令濟ノ死役者總數ハ約七万七千人デアリマス

○宇賀委員 豫算總會ニ於テ政友會ノ石坂委員ガ要求シタ書類ヲ見ルト、今ノ仰シヤツタコトト數字ガ著シク違フヤウニ思ヒマスガ、之ヲ見マス「陸軍省三十五ノ内」トシテ「事變以來ノ戰病死軍人ニ對スル一時賜金額、事變以來昭和十五年一月末日迄ニ發令

濟ニ係ル一時賜金ハ一億一千七百二十六万九千二百五十三圓ナリ」斯ウ云フ説明ガアリマスケレドモ、大分數字ガ違フヤウデスガ、何カ其ノ間ニ計算違ヒガゴザイマセヌデセウカ

○谷口政府委員 只今御尋ノ件ハ今調べマシタ上デ御答申上ゲマス

○宇賀委員 今度ノ一時賜金ハ詰リ海軍省告示十五號トカ、或ハ陸軍省告示第三十九號トハ全ク別ノモノデアツテ、何等之ニハ關係ナイト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○谷口政府委員 宇賀サンノ仰セノ通りニ只今議題ニ上ツテ居リマス關係ノモノハ是ハ一般ノ行賞ノ關係ナラバデアリマシテ、先刻御答致シマシタ死役者ニ對スル特別賜金ト是トハ全ク別個ノモノデアリマス

○宇賀委員 ソレカラ昨日少シハツキリ致サナカツタノデアリマスガ、今回ハ既ニ今マデニ戰死者ニ對シテハ十何回カニ互リマシテ金醵勳章、其ノ他特殊ノ勳章ヲ御下賜ニナツテ居リマス、ソレデ金醵勳章ニハ年金ガ付イテ居リマス、他ニハ年金ガ付カナイト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマスガ、要スルニ金醵勳章ニ年金ガ付イテ居リマスカラ、金醵勳章ヲ戴イタ陣役者ハ、今

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
昭和九年法律第四十五號中改正法律案(貿易調節及通商保護ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)(第五九號)
昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)(第一〇八號)
支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第一〇九號)
外國爲替管理法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第九八號)

唯旭日ナリ、瑞寶章ナリ其ノ他ノ特殊ノ表彰ヲサレタ御方、ソレカラ既ニ生命ヲ全ウシテ内地ニ凱旋致シマシタ部隊ノ將士ダケニ限ルノデゴザイマセウカ

○森田政府委員 今回交付致シマス賜金ハ、ヤハリ功績ニ依リマシテ金鷄勳章ヲ賜賞サルベキ者モ含シテ居ルノデアリマス、既ニ金鷄勳章ヲ賜賞サレタ者以外ニ於キマシテ、今回戦地カラ内地ニ歸還シタ者或ハ戦死者、此ノ中デモ殊勲ニ該當スル者ハ、ヤハリ金鷄勳章ハ賜賞サレルコトニナツテ居ルノデアリマス

○宇賀委員 サウスルト先ヅ總テノ人ニ一時賜金ヲ賜ツタ其ノ上ニ、殊勲ノアル者ニハ金鷄勳章ヲ賜ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○森田政府委員 前ニ金鷄勳章ヲ貰ヒマシテ、又今回ノ功績ニ依リマシテ重ネテ金鷄勳章ヲ貰フ者ニハ、ヤハリ一時賜金ハアルノデゴザイマス

○宇賀委員 ソレデハ二ツニ分ケテ申上ゲマス、生命ヲ全ウシテ目出タク凱旋シタ將士ニハ、一時賜金ヲ下サレバ、其ノ上勳功ノアル人ニハ金鷄勳章モ賜ル、是ハ間違ヒナイデセウカ

○武井政府委員 一寸補足シテ置キマスガ、實例デ申上ゲタ方ガ御分リガ宜イカト思ヒマス、今マデニ功七級ナラ功七級ヲ戴イテ居ル者ガ、更ニ從軍シテ功六級ヲ戴イタ、サウ云フ場合ト、前ノ功七級ガアリマセヌデモ功六級ヲ戴ク場合ガアリマス、ソレデ前ニ功七級ヲ戴イテ今度ハ功六級ヲ戴ケバ其ノ差額ダケシカ貰ヘマセヌ、ソレデハ公平ヲ缺クト云フ見地カラ、サウ云フ場合ニ限ツテ金鷄勳章ヲ戴ク者ニモ一時賜金ガ下

ルノデアリマスガ、最初ニ金鷄勳章ヲ戴ク場合ニハ、同時ニ一時賜金ト金鷄勳章ヲ戴ク者ハアリマセヌ

○宇賀委員 其ノ方ハ分リマシタ、次ニ陣歿シテ今日マデニ既ニ行賞サレテ金鷄勳章ヲ貰ツタ、サウ云フ方達ハ金鷄勳章ダケ貰フノデハナク、ソレニ付ク年金ハ五箇年分戴クト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ以外ニ今度ノ一時賜金モ其ノオ方ニハ差上ゲルコトガ出來マス

○武井政府委員 ソレハゴザイマス、其ノ場合ハ陣歿者デアリマスカラ貰ヒマス

○宇賀委員 ソレデハ金鷄勳章ハ貰ハナイカ、例ヘバ旭日ノ六等ヲ貰ツタトカ、八等ヲ貰ツタトカ金鷄勳章以外ノモノヲ貰ツタオ方ニモ、今度ノ一時賜金ハ下サルノデスカ

○武井政府委員 其ノ通りデゴザイマス

○池田委員 一寸關聯シテ伺ヒマスガ、昨日ゴザイマシタ五十何万人ト云フノハ、全部貰フコトニナルヤウデスガ、今度ノ事變ニ出征シタ軍人、軍屬ハ、一人モ貰ハヌ者バナイト云フコトニ伺ツテ宜シイノデスカ

○谷口政府委員 昨日ハ五十何万人ト云フコトヲ御答申上ゲタノデアリマスガ、アレハ本年分トシテ只今議題ニ上ツテ居リマス一億六千四百二十萬圓ガ、幾人分ノ基礎デ計算シタカト云フ御質問ニ對シテ約五十何万人ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレデ今回ノ事變ニ關係致シマシタノハ五十何万人デ全部デハアリマセヌ、昨日宇賀サシモ御尋ニナリマシタヤウニ、十七年分、十八年分ガアルカト云フ御尋ニ對シテハ、全ク其ノ通りデアリマス云フコトヲ申上ゲタヤウナ次第デアリマス、今ノ御質問ハ

今度ノ事變ニ參ツタ者ガ全部戴ケルコトニナツテ居ルカドウカト云フ御質問デゴザイマスガ、ソレハ恩賞ノ方デ色々銓衡ノ關係ガアルノデゴザイマシテ、行ツタ方々ニ一人殘ラズ賜金ガ出、勳章ガ出ルカト云フコトハ、一寸御答致シ兼ねルト申上ゲルヨリモ、御答致スコトガ出來ナイノデゴザイマス

○池田委員 御答出來ナイコトヲ強ヒテ聽カウト云フ譯デハゴザイマセヌ、日露戰爭ノ當時ハ全部ガ少シジツデモ公平ニ貰フト云フヤウニハ行カナカウツト思フノスガ、此ノ度ハ其ノ點ガ幾ラカ違ツテ居ツテ、兎ニ角五箇月デモ一年デモ行ツタ者ハ、別ニ取立テテ言フ程ノ功勞ハナクテモ、幾ラカジツデモ御下賜金ガアルノデハナイカト云フヤウニ思ツテ居ルノデ、其ノ點御話ニナセルコトガ出來レバ伺ヒタイト思フノデス

○阿部政府委員 只今ノ點ハ十分ニ審査内規ニ依ツテ審議致シマシテ、各種ノ標準ニ依ツテ是カラ銓衡サレルコトニナリマスノデ、御尋ノヤウナコトニナルカナラスカト云フコトハ、本日ノ所デハ御答出來マセヌ

○宇賀委員 私共モヤハリ前質問者ト同ジヤウニ考ヘテ居リマスガ、兎ニ角今回ノ戰爭ニ出掛ケテ行ツテ、命ヲ的ニシテ國家ノ爲ニ非常ナル御勞苦ヲナスツテ、中ニハ命ヲナクシタ人モアルシ、或ハ幸ニシテ生命ヲ全ウシテ歸ツテ來タ人モアル、サウ云フヤウナ御方デアルナラバ、向フデ何カ罰ヲ受ケタトカ何トカ云フ特殊ノ「マイナス」ラスルヤウナ行爲ノナイ限りニ於テハ、勳章ハ下サラナクテモ、幾分ノ恩賞ガ戴ケルモノダラウト云フヤウニ考ヘテ、今マデズツトサウ云フヤウナ考ノ下ニ實ハ質問ヲ續ケテ來タノデアリマスガ、只今ノ軍務局長ノ御説

明ヲ承ルト、必ズシモサウデナイカモ知レヌト云フヤウナコトデアリマス、勿論ドンナ人デモ出掛ケタ人ハ全部貰フト云フコトデハ、是ハ私モイケナイト思フ、其ノ中デオ叱リヲ受ケタトカ、上ノ人ノ意ニ副ハナイ行爲ヲシタトカ云フヤウナ、特殊ノ事情ノアル者ヲ除イタ他ノ者ハ、是ゾト云フ目覺シキ勳功ハナクテモ、其ノ勞苦ニ對シテモ何トカ相當ノ優遇ノ方法ガアルノガ本當デヤナイカト私ハ思ヒマス、諄イヤウデスガ、尙ホ一應此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○阿部政府委員 論功ト云フモノハ極メテ大切ナモノデアリマス、ソレニ對シテ最モ公平ニ之ヲ實施シナケレバナラスト云フ趣旨ハ、吾々トシテ十分ニ考ヘテ居リマス、但シ今申サレタヤウニ、總テ行クノカドウカト云フコトハ、申上ゲ兼ねルト云フコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス、其ノ通り行カスト云フヤウナ否定的ナコトハ申シテ居リマセヌ、如何様ニ行クカト云フコトハ、現在ニ於テハ全然申上ゲルコトヲ憚リマス

○宇賀委員 滿洲事變ニ關スル一時賜金ヲ交付スル時ニ、政府ノ執リマシタ手續ト、今回ノ豫算其ノ他ノ見方ニ付テハ、ドウ云フ風ニ違ツテ居リマセウカ、此ノ時ニハ額面六千二百六十餘萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマシタ、此ノ時ノ二人當リノ金額ハ一體下ノ位ニナツテ居リマセウカ

○前田政府委員 滿洲事變ノ行賞デゴザイマスガ、是ハ普通ノ公債ヲ發行シマシタ、隨テ額面ト交付價格ノ間ニ差ガゴザイマシテ、其ノ差金ハ豫算ニ組マレタノデゴザイマス、ソレカラ一人當リノ金額デゴザイマスガ、是ハ色々ノ關係ガアリマシテ、事

變ノ規模、其ノ他戰果等ニ依リマシテ賞格
モ違ヒマスシ、又時代ニ依ツテ賜金表ノ金
額ニモ相違ガゴザイマスカラ、餘リ一人當
リノ金額ト云フコトニ重キヲ置カレテ御議
論ヲ願フノハ、如何カト存ゼラレノデア
リマスガ、數ガ出テ居リマスカラ申上ダマ
ス、滿洲事變ノ行賞第一回ノ五千萬圓發行
致シマシタ時ノ陸軍ハ一人當リハ百十一
圓、海軍ハ七十圓デアリマス、兩者ヲ平均
致シマシタノガ、九十九圓ニ相成ツテ居リ
マス

○宇賀委員 六千二百六十萬圓デヤナカツ
タノデスカ、何カ間違ヒデスカ

○前田政府委員 第一回ノ時ハ五千萬圓デ
ゴザイマシテ、第一次追加、第二次ノ追加ト
アリマシテ、其ノ合計ガ六千二百六十萬圓デ
アリマス、全部ノ一人當リヲ申上ダマス、
是ハ第一次追加、第二次追加ノ時ハ、軍人
以外ノ比較的賞格ノ少イ方マデ及ンデ居リ
マスノデ、全部ヲ平均致シマス、一人當
リノ金額ハ第一次ノ時ヨリズツト低クナツ
テ居リマシテ、陸軍ガ九十五圓、海軍ガ六
十九圓、兩者ヲ合セマシタ平均ガ八十九圓
ニ相成ツテ居リマス

○宇賀委員 有難ウゴザイマシタ、私ハ實
ハ目下ノ國內ノ事情ト言ヒマスルカ、有ユ
ル方面カラ考ヘテ、出來得ルダケ斯ウ云フ
恩賞ハ、豫算ノ許ス限リニ於テ澤山ヤツテ
戴キタイト云フコトヲ主張スル次第デアリ
マス、唯前ノ滿洲事變ノ當時ノ賜金ヲ聽キ
マシタノハ、其ノ當時ト今度ト戰爭ノ規模
モ違ヒマセウシ、各人ガ從事シタル所ノ勞
苦ノ程度モ餘程違ヒマス、サウ云フコトニ
付キマシテハ私共ハ何等ノ知識ヲ持チマセ
ヌカラ、三倍ガ宜イトカ五倍ガ宜イトカ議

論ハ申シマセス、ケレドモ國內ノ環境ヲ
少シ御考ニナツテ戴クコトガ出來ナイダラ
ウカト云フコトヲ、一言申シテ見タイノデ
アリマス、ソレハ過日稅制案ガ本會議ニ上
程サレテ通過致シマシタ其ノ際ニ同僚ノ藤
本捨助サンガ、戰時利得稅ノ問題ニ付テ、
ソレニ大分觸レタ所ガゴザイマスルガ、此
處デ之ヲ讀上ゲルコトハ非常ニ煩雜デアリ
マスカラ省略致シマスケレドモ、隨分今回
ノ事變ヲ基ト致シマシテ重工業、殊ニ化學
工業、或ハ機械工業其ノ他金屬工業、鑛山
業、サウ云フ方面ニ付キマシテハ、洵ニ莫大
ナ利得ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、斯ウ云
フモノガ全部トハ申シマセスガ、私ヲシテ
言ハシメルナラバ、是ハ戰爭ト云フコトニ
原因シテ、斯ウ云フ結果ヲ來シタモノダト
思ハレマス、諄イコトハ申シマセヌケレド
モ、私一寸今朝調ベテ見マシタ數字ニ於キ
マシテモ、本邦事業成績ヲ昭和十二年下期
十四年上期、十四年下期ノ三菱ノ經濟研究
所デ調べタモノヲ見マスル、製造工業ノ
如キハ非常ニ拂込ガ多クナツテ來ルニモ拘
ラズ、比較的純益ヲ擧ゲマシテ、拂込資金
デ純益ヲ割ツテ、其ノ利益率ト云フモノヲ
見マス、幾分ヅツカ下ツテ居ル傾向ハア
リマスケレドモ、大シテ下ツテ居リマセス、
昭和十二年ニ較ベマス、段々ト上ツテ來
ルヤウナ傾向ヲ示シテ居リマス、其ノ中最
モ激シイモノハ皮革ノ製造業、是ハ相當軍
事工業ニ重キ使命ヲ持ツテ居ルヤウニ思ツ
テ居リマスガ、是ハ十三年ノ下期ノ調ニ依
リマスルト四六・七・七・ト云フ利益ヲ上ゲテ居
リマス、十四年ノ上期ガ三九・六・、同年下期
ガ三四・四・斯ウ云フヤウナ利益ヲ上ゲテ、
其ノ外化學工業ノ或ルモノハ十三年下期二

一・六・、次ノ十四年ノ上期ハ二・二・、十
四年下期ハ二・一・ト云フヤウナ風ニナツテ
居リマス、ソレカラ機械工業デモ、ヤハリ
サウ云フ傾向ガアリマス、鑛山事業モヤハ
リサウ云フコトニナツテ居リマシテ、先ヅ
一部ニハ「インフレ」ガ街ニ氾濫スルト云フ
ヤウナ狀態ヲ來シテ居ルノデアリマス、隨
テ茲ニ從事スル從業員等モ、餘程惠マレタ
ル所ノ賃銀ヲ貰ツテ居ル者ガ多クアルノデ
アリマス、其ノ最モ標準ニナツテ眼ニ立ツ
モノハ、十三年六月ノ勞働者ノ實收賃銀ヲ、
厚生省勞務局デ調べタモノニ依リマスル、
其ノ當時大阪ニ於テ機械器具仕上工デ、賃
銀ヲ一番取ルノガ十五圓五十六錢、同ジク東
京ガ十二圓六十錢、兵庫ガ十一圓八十錢、神
奈川ガ十圓九十四錢トナツテ居リ、此ノ以
外ニ又「ボーナス」ヲ貰フト云フヤウナコト
ヲ傳ヘラレテ居リマシテ、昨年九月二十日
ノ朝日新聞ニアツタノヲ見タノデアリマス
ガ、蒲田署デ調べマシタ所ガ、鍛冶屋ノ職
工ガ一番ノ取頭デ、一箇月ノ收入ガ千二百
圓、斯ウ云フコトガ書イテアリマシタ、當
時阿部總理大臣ノ年俸九千六百圓ニ比ベ
テ、此ノ職工ハ實ニ二千四百二十圓四十錢ノ
多額ノ收入ヲ得テ居ル、私實地ニ調べタモ
ノデアリマセヌカラ、確言ハ出來マセヌケレ
ドモ、チャント警察署ノ調査トシテ書イテ
アルカラ間違ナイダラウト思ヒマスガ、大
體工場地帯ノ蒲田署ガ其ノ當時調べタ所ニ
依リマス、事變前日給一圓八十錢乃至二
圓三十錢位ダツタ二十歳以下ノ職工ガ、事
變ノ爲ニ一躍三圓トナリ、又事變前三圓位
ダツタ二十歳以上ノ職工ガ五圓以上モ給料
ヲ貰フヤウニナツタ、殊ニ十三年ノ四月カ
ヲノ昇給ハ洵ニ目覺シク、蒲田署全管内ニ

於ケル最高ノモノハ、日給二十錢ヅツ上ツ
テ行クト云フ記事モ見マシタ、ソレカラ極
ク新シイ面白イ例トシテ、一應皆サンノ御
耳ニ入レテ置キマスノハ、青鉛筆ト云フ
新聞記事デアリマスガ、大阪電話トシ
テ、一週間位前ノ記事ダト思ヒマスガ、
「昨年一月大阪府工場課ガ殷賑産業百工場
ニ付テ賃金調査ヲ行ツタ際、現レタ日給三
十三圓二十二錢ダツタガ、三月ノ實收調査
デ日給三十八圓七十二錢トイフノガ飛出シ
タ、コノ職工サンハ大阪市東成區ノ某機械
製作所ノ仕上工デ事變勃發間モナク應召昨
年末歸還懷シノ職場ニ歸ルガ早イカ腕ニ燃
ヲカケテ働クモ働イタリコノ正月ニ二十五
日間勤メタダケデ手ニシタ收入ハナント九
百六十九圓五十一錢重役連モ追ツ付カヌ豪
勢サ」ト云フヤウナ記事ガアルノデアリマシテ、
勿論日本全部ノ人ガ斯ウ云フヤウナ收入ヲ
得テ居ル譯デハアリマセス、併シナガラ私
ハドウモ戰時體制下ニ於テ皆ガ苦シンデ居
ルト云フナラ同様ニ苦シマウシ、同時ニ稅
ナドニ於テハヨク負擔ノ衡平ナドト申シマ
スルガ、戰時ニ於キマシテハ國民ハ犧牲ノ
公平ト云フコトヲ「モットー」トシテ、協力
一致シテ進ンデ行カケレバナラスト云フ
コトヲ固ク信ジテ居ル一人デアリマス、其
ノ際ニ或ハ一方ニ於テハ儲ケ放題ニ儲ケテ、
サウシテ自分等ガ使ヒ途ガナイ、是ハマア
配當制限トカ或ハ色々ナ方面ニ於テ抑ヘ付
ケラレテ居リマスルカラ、隨テ此ノ金ヲフ
ンダンニ使フ、甚シイノニナリマスルト交
際費ト云フ名目ニ於テ、非常ニ多クノ「ボー
ナス」ヨリモ、多クノ金ヲ交際費ト云フ名
目デ使フト云フヤウナ、或ハ機密費ト云フ
ヤウナ名目デ使ヒマスルヤウナ會社モアリ

マスルシ、ソレヲシタニシテモ尙ホ先程私ガ申上ゲタヤウニ、相當以上ノ利益ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、隨テ從業員——何モ、勞働者バカリヲ申スノデアリマセス、ソコニ居ル所ノ「サラリーマン」其ノ他ノ重役以外ノ御方ニハ、ヤハリ中々宜イ所ノ賞與ヲ吳レテ居ルヤウナコトヲ見テ、一體斯ウ云フヤウナ狀態ノ下ニ、向フニ二年ナリ三年ナリ居テ苦勞ヲ生命ヲ的ニシタ多クノ兵士ガコチラニ歸ツテ來テ、サウシテ斯ウ云フヤウナ有様ヲ見テ、今日彼等ハ、自分等ノ勞苦ニ對シマシテ相當國家モ酬ユル所アルベシト、一部期待シテ居ルト云フコトヲ言ツテハ、是ハ聊カ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フコトヲ多少トモ淡イ望位ニハ考ヘデ居ル御方モ、多數アルダラウト思フノデアリマス、所ガ愈、戴ク段ニナリマシタナラバ、思ツタモノノ半分モ頂戴出來ナイト云フヤウナコトガアツテハ——勿論此ノ恩賞ト云フモノハ何モ其ノ勞苦ニ對スル所ノ、物の報償ヲ全部現ハシタモノデナイコトハ當然デアルトシテモ、今日經濟社會ノ狀態ニ於キマシテ、金錢ヲ基礎ニスル所ノ社會ニ於キマシテ、其ノ勞苦ノ或ルモノヲ金デ計算スルト云フコトハ、是亦已ムヲ得ナイ現在ノ狀態カラ見マシテ、若シモ自分等ノ幾ラカ考ヘテ居タコトト、著シク違フヤウナ額ヲ戴イタラバ私ハ餘リ好イ心持ハシナイノデハナイカト思ハレルノデアリマス、勿論ドウ云フ根據デ、一人當リ今回二百七十五圓ト云フ金額ヲ算盤カラ彈キ出シタカ存ジマセヌガ、御説明ニ依リマスルト、先例其ノ他ヲ調ベテオヤリニナツタ、斯ウ云フコトデアリマス、併シナガラ今日ノ物價ノ騰貴此ノ前ノ滿洲事變ニ一時賜金

ヲ賜ツタ昭和九年當時ト今日トハ、物價ノ狀態モ著シク違ヒマスルシ、サウシテ御承知ノ通りニ目下毎日物價ハ暴騰シツツアルト斷言シテ差支ナイ、昨年ノ九月十八日ニ有ユル物資ノ價格ヲ止メラレタ、ケレドモ生計費ノ調査トカ或ハ其ノ他ノ卸賣物價、小賣物價等ヲ調べ見レバ、殘ラズ皆上ツテ居リマス、今日ノ狀態デ行クナラバ、今後モ尙ホ上ルダラウト云フヤウナコトモ考ヘラレマス、サウ云フヤウナ點ヲ考慮ニ入レマスルト、是ハ餘程御考ニナラヌト云フト面白クナイヤウナ感情ヲ抱ク者モ出來ハセヌカト云フヤウナコトヲ、私ハ心配スルノデアリマスルガ、サウ云フ點ニ付テモ、軍當局ノ御方ニ於テ十分ナル所ノ御考慮ハ拂ツタラウト思ハレマスルガ、其ノ一端ヲ御漏ラシ下サレバ、有難キ仕合セダト存ジテ居リマス

○武井政府委員 今御述ニナリマシタコトハ吾々トシテモ全く同感デアリマス、金額ノ決マリマシタコトハ先程或ハ前會デアリマシタカ、説明ノ時ニモ大藏省政府委員ヨリ申上ゲマシタ通り、先例其ノ他各種ノ狀況カラ、アノ邊ガ適當デアルト定メラレタ次第デアリマス、尙ホ一人モ漏レナクト云フ先程ノ御希望モアリ、御質問モアツタノデアリマスガ、之ニ對スル行賞ノ趣旨ハ、他ノ政府委員カラ述べタ通りデアリマス、併シ事實問題ト致シマスレバ、殊勳ヨリシテ以下更ニ幾ツカノ等級ニ分ケマシテ、實情ニ應ジマシテ嚴密ニ査定ヲシ、公平ナル決定ヲセラレルノデアリマスカラ、苟モ功績ノアリマスル者ナラバ、大小ヲ論ゼズ、悉ク恩賞ニ預リマス、功績ノナイ者マデモ假令幾ラ向フニ行ツタカラト云ツテ、恩賞ニ預

ルト云フコトハ到底期待シ得ナイ譯デアリマスケレドモ、苟モ功績ノアリマス者ハ一人モ漏レナイ、此ノ點ダケハ申上ゲテ差支ナイト思フノデアリマス、其ノ點ハ御安心願ツテ差支ナイダラウト思フノデアリマス

○本村委員 一寸只今ノ字賀君ノ質問ニ關聯シテデアリマスガ、私平日御無禮ヲシテ居ツテ甚ダ失禮デアリマスガ、今字賀君ノ質問ニ對シテ甚ダ不安ヲ感ジ出シタノデアリマス、ソレハ論功行賞ニ對スル砂上ノ偶語ト云フコトハ、昔カラ屢アルコトデ容易ナラヌコトデアリマス、殊ニ今字賀君ノ仰セニナツタノハ、他ノ物價ト均衡ヲ失シタ場合ニハ容易ナラヌ事態ヲ生ジハシナイカ、政府ノ根本方針ハ何處ニアルカト云フ意味ヲ、徹底シテ伺ツテ置カナイト、若シ斯様ナコトガ院外ニ漏レテ某議員ハ論功行賞ニ此ノ時局ノ物價高ト比較シテ、ウント出セト云ツタ、然ルニ政府ハ此ノ原案デ宜シイト言ツタ、他ノ議員ハ沈黙シテ居ツテ、其ノ儘ニシタト云ツタヤウナコトガ國民ニ知レ渡ツタナラバ、是ハ容易ナラヌ結果ヲ招來スルモノト思ヒマス、故ニ此ノ場合ニ於テ私ハ金額等ノコトヲ聽クノデハアリマセヌガ、大體斯ウ云フ論功行賞ノ目安ハ何處ニアルカニ付テ、歸還兵士及ビ銑後ノ國民悉クガ安心スルダケノ御説明ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○谷口政府委員 只今ノ御話ハ洵ニ御尤モデアルト考ヘルノデアリマシテ、此ノ論功行賞ト申シマスモノハ、只今御話ノ中ニモアリマシタ如ク、洵ニ重大ナル事柄デアリマシテ、其ノコトニ付テハ諸般ノ事情モ考ヘテ、最モ慎重ナル措置ヲ執ラナケレバナラスト云フコトハ、只今申上ゲタ通りデア

リマス、ソレデ勿論此ノコトニ付キマシテハ恩賞ノ當局等ニ於キマシテモ、行賞ノ程度等ニ付キマシテハ、最モ慎重ニ其ノ事ニ當ルコトニナツテ居ルノハ申スマデモナイノデアリマシテ、只今私共ガ此處デ御答致シテ居リマスルコトハ豫算ノ積算、又此ノ公債發行ノ限度等ニ關スル一應ノ積算根據ヲ御説明申シテ居ルノデアリマシテ、此ノ積算致シテ居リマスル豫算ニ基キマシテ、實際行賞ノ行ハレマスニ付キマシテハ、別ニ恩賞ノ方ノ關係デ以テ、嚴正公平ナル判斷ヲ下シタ上デ御決定ニナルノデアリマシテ、必ズシモ此處ニ於テ豫算ニ積算シテ居リマスル其ノ通りガ、此ノ恩賞トシテ御沙汰ガアルト云フモノデハナイノデアリマシテ、其ノ關係ハ御承知カトモ思フノデアリマスガ、申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス

ソレカラ先刻字賀サンノ仰セニナリマシタ點ニ付テ、昨日ガ吾々ガ此處デ平均ハ幾ラニ當ルカト云フヤウナ問題ニ付テ、御答致シタノデアリマスガ、大體陸軍ガ二百七十五圓、海軍カラハ大體二百五十圓ガ平均ニ當ルト云フヤウナ御答ヲサレタノデアリマスガ、是ハ今回ノ公債發行額ノ限度ニナツテ居リマス一億六千四百二十萬圓、之ニ對シマシテ陸軍ガ約五十萬人、海軍ガ約七萬人弱ト云フコトデアリマシテ、其ノ人數ニ依リマシテ積算サレマシタル金額ガ、自ラ出テ來ルノデアリマス、陸軍ガ約一億四千六百萬圓、海軍ガ千七百萬圓ト出テ來ルノデアリマスガ、是ハ昨日モ申上ゲテ置キマシタヤウニ、昭和十五年度分トシテ、是位ナ行賞ノ發令ガ出來得ルデアラウト云フ事務ノ進捗ノ程度ヲ考ヘマシテ出シタル金額並ニ人數

ノデハナカツタノデアリマシテ、唯先例ニ依ツテ二百七十五圓ト云フモノヲ彈キ出シタト言ヒマスカラ、ソレデ多少其ノ當時ト今日トハ、事情ガ違ツテ居ルデハナイカト云フコト申シタダケデ、決シテ二百七十五圓ハ少イカラ、モツト殖ヤセト云フヤウナ考ハ持チマセヌカラ、若シモサウ云フ風ニ皆サン方ガ御取リニナルナラバ、私ノ言葉ノ足リナカツタ爲デアリマスカラ、ドウゾ左様御訂正願ヒマス

○谷口政府委員 私モ宇賀サンノ先程ノ仰セヲ取違ヘテハ居ラナカツタト思フノデアリマス、私ノ御答致シマシタ言葉ノ中ニ、取違ヒヲ致シマシタヤウナ文句ガアリマシタナラ、何分御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ先程宇賀サンノ御指摘ニナリマシタ事變以來ノ戰病死軍人ニ對スル一時賜金額トシテ、陸軍省ヨリ參考資料トシテ豫算委員會ニ提出ニナツテ居リマス一億千七百萬圓何ガシト云フモノハ、是ハ間違ヒノナイ數字デアリマス、私先程申上ゲマシタノハ公債ノ形デ出シタモノガ幾ラデアルカト云フコトヲ申シタノデアリマシテ、一時賜金額ハ幾ラデアルカト云フ御質問ニ對シテノ答トシテハ不十分デアリマシタ、此ノ際ニ御諒承ヲ願ヒマス

○宇賀委員 今ノソレハ陸海軍合セテデスカ、陸軍ダケデスカ

○谷口政府委員 陸軍ダケデス

○宇賀委員 此ノ問題ニ付テハ是デモウ終リデスガ、他ノ問題ニ移ツテ宜シウゴザイマスカ

○紫安委員長 宜シウゴザイマス

○宇賀委員 私ハ爲替管理法ニ付テ政府委員ノ御方カラ、少シ御説明ヲ戴キタイト思

フノデアリマスルガ、私共ハ平生斯ウ云フ方面ニ付テ餘リ注意モ拂ツテ居リマセシ且又旅行シテモ餘リ金ヲ持合セモアリマセヌノデ、斯ウ云フ目ニ遭ハナカツタノデアリマス、唯私昨年六月自ラ滿洲ニ行キマシタ體験ガアリマスルカラデスガ、今度ハ前ト違ヒマシテ、前ニハ「通貨、金地金、金ノ合金若ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ輸出」ト云フ風ニシテデアリマシタノガ「通貨若ハ外國通貨ノ輸出若ハ輸入」ト云フト

テドンナ待遇ヲ受ケテ居ルカト云フヤウナ點ヲ、御差支ナイ限り詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

力向フニ於ケル圓札ノ本邦ヘノ回收ニ努力ヲ致シテ居リマスノデ、各種ノ事業送金、事業利益ト云フヤウナモノヲ、出來ル限り勸奨シテ速ニコチラヘ回收ヲスル、又本邦カラノ物資ノ輸出ヲ獎勵シテ、ソレニ依ツテ代金トシテコチラヘ回收ヲスルト云フヤウナコトニ付テ、極力ヤツテ居ル譯デアリマス、決シテサウ云フ根本ノ處置ヲ意ツテ居ツテ、少額ノ攜帶輸入等ニ付テ、ヤカマシク言フト云フヤウナコトヲ本旨トシテ居ル譯デアリマセス、出來ル限り向フニ第一出テ行カナイヤウニスル、又出テ行ツタモノニ付テハ、出來ル限り早く之ヲ回收スルト云フコトニ努メテ居ル譯デアリマシテ其ノ意味カラ言ヘバ、旅行者其ノ他ノ持ツテ來ルモノヲ、許可事項ニスルト云フヤウナコトヲセヌデ、自由ニドンノ歸ツテ來ルヤウニシタナラバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御趣旨ノ御尋モ一應御尤モデゴザイマス、ソレデ上海其ノ他ニ於テ正常ノ取引デ入手シタトカ、或ハ向フデ勤勞ヲシテ取得シタト云フヤウナ方々ガ御持チニナツテ御歸リニナル向キニ對シテハ、極メテ寛大ニ之ヲ許可シテ居ル譯デアリマス、唯遺憾ナコトニハ海外カラ本邦ニ向ケテ送金ヲスル必要ノアルモノハ、例ヘバ亞米利加カラ本邦ニ送金ヲスル必要ガアルモノ、或ハ印度アタリニコチラカラ輸出シタ品物ノ代金ヲ、印度カラ本邦ニ持ツテ來ルト云フヤウナ場合ニ、當リ前デアリマスレバ亞米利加ノ分ナラバ弗資金ガ入ツテ來ル、又印度デアツタナラバ「ルビー」ノ外貨資金ガ本邦ノ受取ニナリマシテ、之ヲ以テ本邦ノ必要トスル輸入貨物代金其ノ他ノ支拂ニ充テルコトガ出來ルノデアリマスルガ、不正ノ徒ハ動

モスレバ其ノ弗資金、或ハ「ルビー」資金ヲ一旦上海方面ニ送りマシテ、其ノ地ニ於テ法幣デ代リ金ヲ受取り、更ニ其ノ法幣ヲ日本ノ圓札ニ換ヘテ、サウシテコチラヘ送ツテ來ルトカ、持ツテ來ルト云フヤウナコトガ、昨年來非常ニ行ハレルヤウニナツタノデアリマス、此ノ結果ト致シマシテハ、本邦ノ必要ナル弗資金乃至ハ「ルビー」資金ト云フモノガ、本邦ノ手ニ入ラナイデ支那ノ外貨資金ニナツテシマツテ、舉句ニハソレガ蔣政權ノ物資輸入資金ニナルト云フヤウナコトガアツテ甚ダ憂慮スベキ事態デアツタノデアリマス、ソコデ昨年本邦銀行券ノ輸入ニ付テ許可制度ヲ布イタ譯デアリマス、御尋ノコトデアリマセヌデシタガ、觸レテ申上ゲタ方ガ御諒解ヲ得ルノニ御都合ガ宜カラウト思ヒマスノデ、一寸一言サシテ戴キタイト思ヒマス、本邦ノ銀行券ノ輸入ヲ昨年七月以降許可事項ニシタ、是ハ外國爲替管理法ノ第一條ニハ御承知ノ通り「政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得」、斯ウ云フヤウニ書イテアリマシテ、色々ノ取引トカ行爲ヲ列舉シテ居ル譯デアリマス、其ノ中ノ第十號ニ「證券ノ輸出又ハ輸入」ト云フ條項ガアリマスノデ、此ノ條項ニ根據ヲ置キマシテ、大藏省令ヲ出シテ本邦銀行券ヲ輸入スル場合ニ於テハ許可ヲ要スル、斯ウ云フコトニシタ譯デアリマス、所ガ之ニ付キマシテ、其ノ法律ノ根據ガ疑ガアルト云フコトヲ、司法當局カラ言ハレルヤウニナツタノデアリマス、私共ノ見解ト致シマシテハ、本邦銀行券ハ一面ニ通貨デアアル、又他面ニ於テ證券デアアル、仍テ此ノ法律第一條ノ通貨ト云フ方ニ入レテ、是ガ輸出ヲ

外國ノ非常ニ貨幣ノ値打ガ下ツテ居ル、例ヘテ見レバ日本ノ圓ト云フモノガ英吉利ニ比ベテモ一志二片、今日デハ英吉利ノ「スターリング」ガ下ツテ居リマスカラ一志三片以上ニモナツテ居リマスルガ、ソレガ上海ヘ行キマスルト四片カ五片位ナ價值シカナイ、斯ウ云フヤウナ狀態ニ今日ナツテ居ルト云フコトヲ聞カサレテ居リマスルガ、私共考ヘルト、サウ云フ自分ノ國ノ貨幣ガ、外國ヘ行ツテ値打ノ三分ノ一ニモ下ルヤウナコトナラバ、出來ルダケサウ云フ貨幣ハ何トカ方法ヲ講ジテ、早く日本ニ引上ゲルコトヲ御考ヘニナルノガ、財務當局者ノ主タル任務デアハナイカト思フノデアリマス、ソレヲ斯ウ云フヤウナ僅カバカリ五百圓カ三百圓ノ端々金ヲ向フカラ持ツテ歸ツテ來ル人間ヲギユ一トツチメテ、サウシテ一許可ヲ受ケサセルトカ、許可ヲ受ケズニ持ツテ來タ者ハ、罰則デ其ノ金ヲ取上ゲルトカ云フヤウナコトハ、所謂其ノ本ヲ塞ガズシテ徒ニ末ヲ追フヤウナ風ニシカ思ハレナイノデアリマスガ、日本ノ貨幣トソレカラ向フノ貨幣、或ハ日本ノ金ガ向フヘ行ツ

○中村政府委員 今回ノ改正案ニ於キマシテ、通貨ノ輸入ヲ許可事項ニスルト云フコトガ、新ニ加ツタノデアリマス、御承知ノ通り日本銀行券其ノ他臺灣銀行券、朝鮮銀行券ナドノ本邦銀行券ガ、主トシテ支那方面ニ多額ニ出テ參ツタノハ、本來軍事情動其ノ他經濟開發等ヲヤルニ付テハ、向フノ通貨デ是ガ支拂出來タナラバ甚ダ宜カツタ譯デアリマスガ、御案内ノ通り外貨資金ガ不足デアツタ爲ニ、已ムヲ得ズ本邦銀行券ヲ以テ軍費ヲ支拂スルトカ、或ハ經濟開發ノ資金ニ充テルトカ、斯ウ云フヤウナコトガアツタノデアリマスガ、是モ極力放出量ヲ少クシヨウト云フコトニ努力スルト共ニ又是ガ本邦ヘノ回收ニ付テモ、色々ノ方法デ極力之ヲ獎勵シテ居ル譯デアリマス、然ルニモ拘ラズ放出量ト回收額トガ一致致シマセヌデ、向フニ相當量ダブ付イテ居ツタト云フヤウナ關係カラ、御指摘ノヤウニ國內ニ於ケル通貨價值ハ、當時對英最低一志二片デアアルニモ拘ラズ、上海方面ニ於キマシテハ四片トカ、五片トカ云フヤウナ相場ヲ現ハシテ居ルコトハ、洵ニ遺憾ニ思ツテ居ル次第デアリマス、之ヲ一氣ニ回收シテシマフ、或ハ向フニ於ケル價值ヲ一志二片ニ引上ゲヨウト思ヘバ、巨額ノ外貨資金ヲ費スコトガ出來サヘスレバ何デモナイノデアリマスガ、マダ目下ノ狀態ハサウ云フ方面ニ、ソレダケノ巨額ノ外貨ヲ費スコトガ出來ナイ事情デアリマスルノデ、遺憾ナガラ一氣ニ之ヲ引上ゲルトカ、回收スルト云フコトガ出來ナイデ居ル譯デアリマス 併シ極

力向フニ於ケル圓札ノ本邦ヘノ回收ニ努力ヲ致シテ居リマスノデ、各種ノ事業送金、事業利益ト云フヤウナモノヲ、出來ル限り勸奨シテ速ニコチラヘ回收ヲスル、又本邦カラノ物資ノ輸出ヲ獎勵シテ、ソレニ依ツテ代金トシテコチラヘ回收ヲスルト云フヤウナコトニ付テ、極力ヤツテ居ル譯デアリマス、決シテサウ云フ根本ノ處置ヲ意ツテ居ツテ、少額ノ攜帶輸入等ニ付テ、ヤカマシク言フト云フヤウナコトヲ本旨トシテ居ル譯デアリマセス、出來ル限り向フニ第一出テ行カナイヤウニスル、又出テ行ツタモノニ付テハ、出來ル限り早く之ヲ回收スルト云フコトニ努メテ居ル譯デアリマシテ其ノ意味カラ言ヘバ、旅行者其ノ他ノ持ツテ來ルモノヲ、許可事項ニスルト云フヤウナコトヲセヌデ、自由ニドンノ歸ツテ來ルヤウニシタナラバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御趣旨ノ御尋モ一應御尤モデゴザイマス、ソレデ上海其ノ他ニ於テ正常ノ取引デ入手シタトカ、或ハ向フデ勤勞ヲシテ取得シタト云フヤウナ方々ガ御持チニナツテ御歸リニナル向キニ對シテハ、極メテ寛大ニ之ヲ許可シテ居ル譯デアリマス、唯遺憾ナコトニハ海外カラ本邦ニ向ケテ送金ヲスル必要ノアルモノハ、例ヘバ亞米利加カラ本邦ニ送金ヲスル必要ガアルモノ、或ハ印度アタリニコチラカラ輸出シタ品物ノ代金ヲ、印度カラ本邦ニ持ツテ來ルト云フヤウナ場合ニ、當リ前デアリマスレバ亞米利加ノ分ナラバ弗資金ガ入ツテ來ル、又印度デアツタナラバ「ルビー」ノ外貨資金ガ本邦ノ受取ニナリマシテ、之ヲ以テ本邦ノ必要トスル輸入貨物代金其ノ他ノ支拂ニ充テルコトガ出來ルノデアリマスルガ、不正ノ徒ハ動

モスレバ其ノ弗資金、或ハ「ルビー」資金ヲ一旦上海方面ニ送りマシテ、其ノ地ニ於テ法幣デ代リ金ヲ受取り、更ニ其ノ法幣ヲ日本ノ圓札ニ換ヘテ、サウシテコチラヘ送ツテ來ルトカ、持ツテ來ルト云フヤウナコトガ、昨年來非常ニ行ハレルヤウニナツタノデアリマス、此ノ結果ト致シマシテハ、本邦ノ必要ナル弗資金乃至ハ「ルビー」資金ト云フモノガ、本邦ノ手ニ入ラナイデ支那ノ外貨資金ニナツテシマツテ、舉句ニハソレガ蔣政權ノ物資輸入資金ニナルト云フヤウナコトガアツテ甚ダ憂慮スベキ事態デアツタノデアリマス、ソコデ昨年本邦銀行券ノ輸入ニ付テ許可制度ヲ布イタ譯デアリマス、御尋ノコトデアリマセヌデシタガ、觸レテ申上ゲタ方ガ御諒解ヲ得ルノニ御都合ガ宜カラウト思ヒマスノデ、一寸一言サシテ戴キタイト思ヒマス、本邦ノ銀行券ノ輸入ヲ昨年七月以降許可事項ニシタ、是ハ外國爲替管理法ノ第一條ニハ御承知ノ通り「政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得」、斯ウ云フヤウニ書イテアリマシテ、色々ノ取引トカ行爲ヲ列舉シテ居ル譯デアリマス、其ノ中ノ第十號ニ「證券ノ輸出又ハ輸入」ト云フ條項ガアリマスノデ、此ノ條項ニ根據ヲ置キマシテ、大藏省令ヲ出シテ本邦銀行券ヲ輸入スル場合ニ於テハ許可ヲ要スル、斯ウ云フコトニシタ譯デアリマス、所ガ之ニ付キマシテ、其ノ法律ノ根據ガ疑ガアルト云フコトヲ、司法當局カラ言ハレルヤウニナツタノデアリマス、私共ノ見解ト致シマシテハ、本邦銀行券ハ一面ニ通貨デアアル、又他面ニ於テ證券デアアル、仍テ此ノ法律第一條ノ通貨ト云フ方ニ入レテ、是ガ輸出ヲ

取締ルト云フコトモ宜カラウシ、又證券ト云フ方ニ入レテ、之ヲ輸入スル場合ニ取締ルト云フコトモ支障ナイモノダト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、司法當局ニ於キマシテモ、本邦銀行券ガ證券デナイト云フヤウナ御解釋デハナイヤウデアリマス、ヤハリ證券デアルト云フコトハ、學理的ニハ認メテ居ルヤウデアリマスガ、外國爲替管理法第一條ヲ通讀シタ場合ニ於テ、ドウモ之ヲ證券ト見テ、第十號ニ依ツテ取締ルト云フコトハ困難デアルト云フヤウナ御見解デアリマス、此ノ度其ノ點ヲ明瞭ニスル爲ニ、通貨ノ輸入ヲモ取締リ得ルヤウニ法文ヲ改正シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ譯デアリマス、重ネテ申上ゲマスガ、小額ノ本邦銀行券ヲ海外カラ持ツテ來ルモノニ對シテ喧シク論議シテ、之ヲ強ヒテドウシヨウ、斯ウ云フヤウナコトガ主眼デハナクテ、不正ノ徒ガ輸出貨物ノ代金デアルトカ、其ノ他貿易外ノ送金等ヲスル場合ニ於テ、安ク手ニ入レタ圓札デ之ヲ決濟シヨウト云フヤウナ者ヲ主トシテ取締リタイ、最近ノ情勢トシマシテハ印度人デアルトカ「シリヤ」人デアルトカ云フヤウナ輩ノ中ニ、巨額ノ圓札ノ密輸入ヲ企テ居ルト云フヤウナ情報モ入ツテ來テ居ルヤウナ譯デアリマスノデ、サウ云フノヲ專ラ取締リタイ、斯ウ云フ心持デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○中野委員 一應能ク分リマシタ、今附加ヘテ政府委員カラ御話ヲ承リマシタガ、實ハ私モ昨年ノ七月五日ダツタカ四日ダツタカ、大連デ初メテ此ノ法律ニ引掛ツテ稅務官吏カ何カラ、非常ニ不愉快ナ目ニ遭ツタ一人デアリマス、滿洲ニ旅行ニ行ツテ僅バカリノ金ヲ使ヒ殘シニシテ持ツテ來タ

所ガ、オ前金ヲ幾ラ持ツテ居ルカト訊クカラ、幾ラ持ツテ居ルト云フト、ソレデハ輸入許可ヲ受ケナケレバナラス、ト斯ウ言フ、外國デ餘計金ヲ使ツテ來タノナラバ、日本ノ不利益ニナルケレドモ、自分ノ金ヲ持ツテ行ツテ、ソレヲ自分ガ成ベク節約シテ家ニ持歸ツテ來ルノニ許可ヲ受ケナケレバナラストハ、何ト云フトボケタコトヲ言フノダ、ソナナ法律ハ日本ニナイト申シマシタラ、稅務署ノオ役人サンハ中々鼻息ガ荒イ、私ハ其ノ時ハ仕樣ガナイカラ、實ニ不愉快ナガラ判ヲ捺シテ向フノ言フ通りニナツテ歸ツテ來タノデアリマス、今度丁度此ノ法律ガ出來マシタカラ、ソレデ今聞イテ見タヤウナ譯デアリマス、政府ノ此ノ法律ヲ出ス意圖ハ能ク分リマシタ、併シ私ニ言ハセマスレバ、尙今ノ御話ヲ承ツテ私ハ釋然タラザル點ガアルノデアリマス、一體日本銀行券ナリ、朝鮮銀行券ナリ、或ハ臺灣銀行券ナリガ、上海ナラバ一志二片デアルベキ一圓ガ、四片ナリ五片ナリノ支那ノ法幣ニ比シテ、大シテ上ラナイト云フコトノ原因ガ一體何處ニアルノカ、サウ云フ日本銀行ノ百圓札ト云フモノハ一體下ノ位上海ナリ天津ナリニ轉ガツテ居ルモノカ、今カラ一年位前ニ議會デ議論ニナツタコトモアリマス、三千萬圓ト云フ人モアレバ、イヤ六百萬圓ト云フ人モアル、只今政府委員ノ説明ヲ承リマス、是ハ相當巨額ニアルヤウニ私ニハ思ハレル、何トナレバ圓「ブロック」ノ中ニ日本ノ十四年ノ輸出ト云フモノガ、十二億六千萬圓カラノ輸出超過ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ箇棒モナイ輸出超過ニナツテ居ル、又向フノ債權ヲコチラデ引受ケタモノモアリマスシ、或

ハ軍デ向フヘ行ツテ使ツタ金モアリマスシ、旅行者ガ向フヘ持ツテ行ツタ金モアル、ケレドモ十二億幾ラノ出超ガアルノデアルカラ、三千萬圓ハ五千萬圓ノハシタ金ガ、若シモ上海ヤ天津ニ轉ガツテ居ルノナラ、ソナナモノヲ引摺リ上ゲテ來ルノハ譯ハナイ、大藏事務次官ノ大野君ガ向フノ財務官ヲシテ居ツテ歸ツテ來テノ話ニ、是ハ引上ゲルヨリ方法ガナイノダト云フコトヲ聞イタヤウナ譯デアリマス、ソコデ第一問トシテ、大藏省ハドウ位日本ノ紙幣ガ主トシテ上海竝ニ天津ニ「フロー」トシテ、ソレガ「スプキレ」シヨ」ノ對象物トナツテ、斯ル價值ノ減額ヲ來スモノト看做スカ、之ヲ一ツ御同致シマス

○中村政府委員 先程申上ゲタコトガ少シ言葉ガ足りナイヤウニ存ジマスガ、御承知ノ通り事變ノ當初ニ於キマシテハ、北支ハ專ラ朝鮮銀行券デ處理シテ、中支方面ハ日本銀行券デ、軍費其ノ他ノ支辨ヲ致シタ譯デアリマス、其ノ後北支ノ方面ニ於キマシテハ中國聯合準備銀行ト云フモノガ創立サレ、ソコデ聯銀券ガ發行サレルヤウニナリマシタノデ、漸次朝鮮銀行券ハ回收致シマシタ、目下デハ北支方面デハ殆ド朝鮮銀行券或ハ日本銀行券ト云フモノハ流通致シテ居リマス、偶、旅行者等ガ極ク僅ナモノヲ持ツテ參ツテ、ソレガ向フノ聯銀券ヲ取換ヘラレル、其ノ取換ヘラレタ分モ銀行ノ手ニ入ツテ居ルモノハ段々回收シテ居リマス、多少市中ニ流通スルト云フヤウナモノガ、極ク僅カアルカモ知レマセヌガ、是ハ殆ド願ルニ足リナイ金額ガラウト存ジマス、ソレカラ中支方面ニ於キマシテモ、ドウ位ノ日本銀行券ガ出テ居タカト云フコトニ付

テハ、色々推算ガアリマスガ、私共色々ツテ見タノデアリマスガ、ドウモ的確ナル金額ト云フモノヲ突止メルコトガ出來ナカツタノデアリマス、事變後間モナク軍費ハ專ラ軍用手票、所謂軍票デ處理スルト云フヤウニ改メマシタ、其ノ後ニ更ニ上海ヲ除イタ奥地方面ハ、軍以外ノ者モ軍票ヲ以テ處理スル、斯ウ云フコトニ改メマシタノデ、此ノ方面ハ早くヨリ軍票一點張りニナツテシマツタノデアリマスガ、色々ノ國際事情、經濟事情ガ複雑ナ爲ニ、上海ダケハ軍用手票デ萬事ヲ處理スルト云フコトガ決心ガ付カナカツタノデアリマスガ、昨年ノ夏頃カラ此ノ方面デモ色々ノ準備ヲ整ヘマシテ、漸ク昨年末カラ全部上海ニ於テモ、軍用手票ヲ以テ處理スル、軍費ノ支辨ニシテモ、經濟開發其ノ他ノ支辨ニシテモ、皆コチラカラ爲替デ送金シタ場合ニ、向フノ銀行ナリ郵便局ナリデ渡ス場合ニハ、軍用手票ヲ渡ス、又携帶シテ本邦銀行券ヲ持ツテ行ク者ニ對シテハ、出發スル時或ハ上陸スル所デ、之ヲ軍用手票ニ取換ヘサセルト云フヤウナコトニ致シマシテ、新ニ本邦銀行券ノ中支方面ニ出テ行クコトノ全然ナイヤウニシタ譯デアリマス、尙ホ銀行等ニ預金其ノ他ノ形デ入ツテ參リマシタ本邦銀行券ハ、再ビ出サナイヤウニ、即チ預金ノ拂出シヲ求メル者ニ付テハ、預金スル時ニハ日本銀行券デ預金シタ者ニ對シテモ、拂出シスル時ニハ軍用手票デ拂出スルト云フコトニ致シマシタノデ、以前トハ事變ツテ、上海方面デモ昨今デハ非常ニ日本銀行券ノ數量ハ減ツテ居ル譯デアリマス、所ガ一時上海方面ニ多カツタ時分ニ、色々思惑等デ、之ヲ各地ニ持ツテ行ツタト云フヤウナ者ガアルヤウデアリ

マス、是ハ遠クハ歐洲方面、南米方面マデ行ツタ、此ノ頃ハ其ノ分ガドウ云フ風ニ動イテ居ルカ、ハツキリトハ分リマセヌガ、考ヘテ見レバ、何トカシテ日本ニ持ツテ歸ル、或ハ再ビ上海方面ニ戻シテ、彼處デ消化スルカ、サウ云フヤウナ方法ガ考ヘラレ

ルコトダラウトハ思フノデアリマス、差當リノ所デハ當分ノ輸出スルニ、一志二片トカ三片ノ所ニ引上ゲルコトハ、困難ダラウト思フノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

ルダラウト思ツテ居リマスガ、一時各地ニバラ／＼撒カレタヤウナ事ガアツタヤウニ思フノデアリマス、此ノ頃ノ上海市場ニ於ケル本邦銀行券ノ相場ト云フモノハ、實ハ本邦銀行券ノ相場デハナイノデアリマス、軍用手票ト法幣ノ間ノ相場デアリマス、是ガ御話ノ通り法幣ガ四片何ガシデアル、ソレニ對シテ若干コチラノ方ガ高クナツテ居リマス、大體昨今ノ相場ガ、法幣百弗ニ對シテ軍用手票七十九圓前後デアリマス、爲替相場カラ見マス、尙ホ著シク不當ノ安イ相場ニナツテ居リマス、是ハ實ニ遺憾ナ事デアリマシテ、早ク之ヲ爲替相場並ニ引上ゲタイト云フコトヲ希望シテ、色々ノ處置ヲ講ジテ居ル譯デアリマスガ、是モ亦餘リ一氣ニ行キマス、本邦カラノ中支方面ヘノ輸入品、コチラカラト云フト輸出ニナリマスガ、輸出品ノ價格ノ値ガ上ルヤウナコトニモナリマシテ、餘程慎重ヲ期ス必要ガアルダラウト思ツテ居リマス、何分ニモ目下ノ所デハ理想ノ相場ニハナツテ居リマセヌ、極力引上ニ對シテ努メテ居ル次第デアリマス、將來モツト中支方面ニ對シテ、物資ヲ多分ニ整備スルコトガ出來、或ハ又中支方面ノ軍需工業ニ伴フ費用ト云フモノモ少クテ済ム、或ハ又中支方面ノ事業カラ擧ガル收益ト云フヤウナモノガ巨額ニナツテ、ソレガ本邦ニ取寄セラレルト云フヤウナコトニナレバ、漸次此ノ相場モ直ツテ來

ルコトダラウトハ思フノデアリマス、差當リノ所デハ當分ノ輸出スルニ、一志二片トカ三片ノ所ニ引上ゲルコトハ、困難ダラウト思フノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○宇賀委員 私ハ色々當局ノ衷情ヲ諒トスルノデアアルケレドモ、一體ノ位ノ金ガアルト云フコトガ分ラナクテ對策ガ立ツカ、又金ガアツタトシテモ、支那ノコトデアアルカラ、日本デ發行シタモノデハナイ、向フノ連中ノ偽造シタ札ヲ日本ノ札ト云フヤウナコトニシテ、其處等ヘ「サーキエレート」サシテ居ルカモ知レスト云フコトモ、想像シ得ラレルダラウト思フ、一體上海ニアル日本ノ百圓札ト云フモノヲ、何トカシテ「チエック」シテ、サウシテハ成程確カニ日本ノ百圓札ダ、是ハ偽造品ダト、一々チヤント日本銀行ノ「エキスパート」ヲ連レテ行ツテ、少シ金ヲ出シテ、六百圓アルカ一千万圓アルカ知ラヌケレドモ、何カ物資ヲ持ツテ行ク、或ハ外ノ金ヲ持ツテ行ツテ一旦取換ヘテ、一々検査ヲシテ、検査シタモノニ持ツテ行ツテ——英蘭銀行券ナドデハ裏ニ「サイン」シテアルヤウナ札ガ澤山アル、日本人デアレバコソ、札ヲ汚シテハオ金ヲ冒瀆スルト云フヤウナコトヲ考ヘテ、裏ヘ名前ヲ書イタリ、惡戯書スル馬鹿者ハ居ナイノデアリマスケレドモ、札ナント云フモノハヤハリ一種ノ交換ノ「ノート」ニ過ギナイノデアリマスカラ、裏ニ紫ノ判カ何カ或ハ「インキ」デ以テ「チエック」シテ、先ヅ此處ニ何程日本ノアリ餘ツテ居ル百圓札ガ轉ガツテ居ルカ、確カメルコトヲヤウツタノカヤラヌカ、又サウ云フコトヲヤル御考ハアルノカ、ナイノカ、ソレヲ一ツ承リタイ

○中村政府委員 上海方面デ日本銀行券ノ偽造ガ行ハレテ居ルカドウカト云フヤウナコトヲ調べタコトガアルカドウカ、之ニ對シテ本當ノ日本銀行券ニ對シテハ、印ヲ附ケルトカ、何等カ之ニ對シテ取締對策ヲ立テルコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマスガ、未ダ會テ上海方面ニ於テ日本銀行券ノ偽造サレタモノガ、通用シタト云フヤウナ事實ハアリマセヌ、大體支那人同士、或ハ支那人ト外國人トノ間デハ、本邦銀行券ヲ授受スルトカ、賣買スルト云フヤウナコトハ、殆ド行ハレテ居ナイ、唯多クノ場合ニ於テ、本邦人トノ間ニ行ハレテ居ルノガ多イノデアリマスガ、唯先程モ申上ゲマシタ通り、第三國方面ノ人間ガ、不正ノ目的デ之ヲ入手シヨウト云フヤウナ場合ニハ、賣買讓渡ト云フヤウナコトガアリ得ル譯デアリマス、普通ハナイ、唯日本カラ商品ヲ買ツテ、例ヘバ軍部デ配給シテ居ルモノモアリマス、其ノ他日本ノ商社カラ買フ場合モアリマス、此ノ代金ヲ軍票デ必ズ拂ヘト云フヤウナ場合ニハ、買ハウトスル者ガ法幣ヲ持ツテ居ツテモ、軍票ヲ持ツテ居ラナケレバ、兩替屋ヘ行クナリ、或ハ交換所ヘ行ツテ、法幣ト軍票トヲ取換ヘテ、其ノ軍票デ物資ヲ手ニ入レル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、又日本側ノ方面ニ於キマシテモ、支那人ニ或ル義務ノ報酬ヲ拂フ、或ハ支那人カラ物資ヲ買フトカ云フヤウナ場合ニ、軍票デ買ヘル場合モアルノデアリマス、軍票デ拂ヘル場合モアルノデアリマ

ツテ居ル譯デアリマス、ソレカラアノ方面ニ出テ居ル日本銀行券ト聯銀券トノ御話デゴザイマシタガ、必ズシモ百圓券バカリデアリマセヌ、他ノモノモ相當ニ行ツテ居リマスガ、是等ニ何等カノ特殊ヲ表示ヲシテ、之ニ依ツテ取締ニ手心ヲ加ヘルト云フコトハ、甚ダ便宜ガアルノデアリマス、其ノコトハ豫テ相當慎重ニ考究サレタコトモアツタノデアリマスガ、色々ノ事情デ實現ニ至ラナカツタノデアリマス、色々ノ事情ト云フノモ漠然トシテ居リマスガ、早ク言ヘバ支那政府ノ眞似ヲシテ、北方券ダ南方券ダト云フヤウナ表示ヲスルノモドウカト思フシ、日本銀行券トシテ正規ニ發行シタモノデアアル限り、之ニ二色差別ヲ付ケテドウスルト云フヤウナコトモ、日本銀行券ノ信用上カラ餘程考ヘテ見ル必要モアル、コンナヤウナコトデ實現ニ至ラナカツタ譯デアリマス

○宇賀委員 私モ餘リ事實ヲ知ラヌモノダカラ、御説明ヲ聽イテ大變分ル點モアリマスケレドモ、尙ホ分ラヌ點ハ、第三國人ガ不正ノ徒、不正ノ徒ト言フケレドモ、私ハ第三國人ガ日本ヘ來テ之ヲヤツタラ、不正ノ徒カモ知レヌケレドモ、第三國人ハ第三國ニ居ツテ、錢ノ儲カルコトヲ指ヲ叩ヘテ日本ガ見テ居テ、ソレヲヤラナイト云フヤウナコトハ、外國デハ餘程馬鹿者デヤナイカト思フ、ソレヲ目シテ不正ノ徒ト斯ウ云フノハ、是ハ少シ大藏當局、私共ニ説明スルノナラ宜イデスケレドモ、是ハ實際言ヘバ不正ノ徒デヤナイノデスヨ、サウヤルコトガ商賣ナンド、明治ノ前ニ日本ノ金ト銀ノ相場ト云フモノハ一・四デアツタ、金一匁ガ銀四匁デアツタ、當時世界ノ相場ハ金一匁ガ銀十六匁デアツタ、ソレデ日本ノ金ガ

ツテ居ル譯デアリマス、ソレカラアノ方面ニ出テ居ル日本銀行券ト聯銀券トノ御話デゴザイマシタガ、必ズシモ百圓券バカリデアリマセヌ、他ノモノモ相當ニ行ツテ居リマスガ、是等ニ何等カノ特殊ヲ表示ヲシテ、之ニ依ツテ取締ニ手心ヲ加ヘルト云フコトハ、甚ダ便宜ガアルノデアリマス、其ノコトハ豫テ相當慎重ニ考究サレタコトモアツタノデアリマスガ、色々ノ事情デ實現ニ至ラナカツタノデアリマス、色々ノ事情ト云フノモ漠然トシテ居リマスガ、早ク言ヘバ支那政府ノ眞似ヲシテ、北方券ダ南方券ダト云フヤウナ表示ヲスルノモドウカト思フシ、日本銀行券トシテ正規ニ發行シタモノデアアル限り、之ニ二色差別ヲ付ケテドウスルト云フヤウナコトモ、日本銀行券ノ信用上カラ餘程考ヘテ見ル必要モアル、コンナヤウナコトデ實現ニ至ラナカツタ譯デアリマス

ドシノト上海方面へ逃ゲテ行ツテ、サウシテ向フカラ來ル所ノ英吉利ノ海軍ノ立派ナ士官連ガ、月給ナンカヨリモ、上海デ銀ヲ買ツテ日本へ持ツテ來テ金ト取換ヘテ、一ト四ト取換ヘタモノガ、一ト十六ト取換ヘラレルノダカラ、エライ金儲ケヲシタト云フコトガアツタ、其ノ當時ハ日本人ハ不幸ニシテ貨幣ノ價值ト云フモノニ付テ知識ガ足ラナカッタカラ、サウ云フコトヲドシドシヤツテ居ルコトヲ知ラナカッタ、エライ金ヲ日本デハ上海方面へ逃シテシマツテ、大損ヲシタト云フコトガアリ得ルノデアリマス、私ハヤハリ日本ノ金ガ日本ニ於テ一志二片ヲ堅持シテ居ルノニ拘ラズ、上海ニ於テソレガ四片カ、四片半ノ法幣ト伍シテ大差ナイヤウナ「デバリユーション」サレタル價格ニ於テ「サーキユレート」シテ居ル、ソコヲ流通シテ歩イテ居ルト云フコトヲ見テ、自ラサウ云フ風ニナルダケノ種ガ何處カニアルニ相違ナイ、唯ソレヲ徒ニ第三國ノ不正ノ徒トカ言フケレドモ、コソレハ此處デハ第三國ノ不正ノ徒ト云フカモ知レマヌケレドモ、上海邊リへ行ツテ、第三國ノ不正ノ徒ナント言ツタラ恐ラク笑ハレルダラウト思フ、ソコデ私ハヤハリモウ少シ根本對策ヲ講ジナケレバ駄目ダ、コソナ外國爲替管理法中改正法律案ナシテヤツテ、僅カバカリノ金ヲ「ボケツ」ノ中ヘ入レテ來タ者ニ許可ヲ與ヘルトカ、與ヘストカ云フヤウナコトハ蓋シ末ノ末ナリト斯ウ思フ、ヤハリ元ノ議論ニ戻ツテ來ルノデス、併シマア不正ノ徒カ何カ知リマセヌガ、此ノ前斯ウ云フコトガアル、朝鮮ニアル所ノ金山ヲ日本鑛業ガ買ツタコトガアル、

幾ラデシタカ、七百五十萬圓デシタカ、價格ハ忘レマシタガ、其ノ中半分ヲ政府當局ノ許可ヲ受ケテ金貨デ拂ツテヤツタ、アトノ半分ハ日本ノ札拂ツテヤツタ、其ノ札ヲ持ツテ行ツテハイカスト云フコトヲ言ツタ、四百五十萬圓ノ札ヲ持ツテ其ノ男ハ外國船ニ乗ツテ「サンフランシスコ」ノ方ニソレコソ本當ニ一ツ走りニ逃ゲテ行ツテ、サウ云フヤウナ金ヲ向フニ振り撒イテ困ツタト云フヤウナコトモアリ得ルノデアリマス、何カモウ少シドノ位ノ金ガ上海ニアルカト云フコトヲ本當ニ確メナクテハ、此ノ對策ハ出來ナイノデハナイカト私ハ思フ、若シモ此ノ對策ガ出來ナイナラバ、圓「ブロック」内ノ十二億何千萬圓ト云フ出超ガアルニ拘ラズ、尙ホ斯ウ云フ法律ヲ出サナケレバナラスト云フナラ、是ハ餘程上海ニハ莫大モナイ所ノ、日本銀行ノ値ノ下ツタモノガアルニ相違ナイ、マア日本銀行デハナイカモ知レヌ、日本ノ政府ノ息ノ掛ツタ札ガアルノカモ知レヌ、唯是ダケデ此ノ事ヲ御防ギニナラウト云フノニハ、少々ドウカト思ヒマスガ、尙ホ一應御説明ヲ承ルコトガ出來レバ仕合セデス

○中村政府委員 只今圓「ブロック」ヘノ出超ガ十二億モアツテ、サウシテソレデモ尙ホ、回收出來ナイ程アルト云フノハ、餘程巨額ナモノガアルノダラウト云フヤウナ御尋デゴザイマスガ、是ハ圓「ブロック」ト申シマシテモ、一概ニ一括シテ申サレナイ事情ガアルコトハ、宇賀サシモ御承知ダラウト思ヒマス、滿洲ヘノ輸出超過デアルトカ、北支ヘノ輸出超過デアルトカ云フヤウナモノガ上海ノ圓札ノ引揚ニ役立タナイト云フコトハ當然ノコトデス、私共ノ今問題トシテ居リマスルノハ、上海方面ノ輸出ト輸入トノ關係ガドウナツテ居ルカ、其ノ他貿易外ノ支拂ト受取ガドウナツテ居ルカ、是ガ受取ノ超過デアリマスルナラバ彼處ニ圓札ナドハ殘ツテ居ル筈ハナイノデアリマス、所ガ御承知ノ通り非常ニ大部隊ヲ向フニ出シテ居リマシテ、此ノ部隊ニ對スル給與ハ勿論、其ノ他現地支辨ニ要スルモノハ悉ク軍用手票ヲ以テ賄ツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ中支那振興株式會社ヲ初メトシテ、色々ノ經濟開發事業ヲヤツテ居リマスガ、此ノ出金モ皆軍用手票、廣ク言ヘバ本邦銀行券ミタイナモノデ處理シテ居ル譯デアリマス、ソレニ對シテ中支方面カラ本邦ヘノ受取金ト云フモノハ僅カナ輸出貨物ノ代金乃至事業益金等デ本邦ニ回收スルモノダケデアリマシテ、何時モ出テ行ク方ガ多クテ入ツテ來ルモノガ少イ、斯ウ云フコトカラ向フニ本邦銀行券、若クハ其ノ代用品タル軍用手票ガ多クナツタト云フ譯デアリマス、之ヲ根本的ニ治療ヲ考ヘロト云フコトデアリマスガ、考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ何デモナイコトデ、實ハ外貨資金ヲ此ノ際其ノ回收ニ費ス勇氣サヘアレバ何デモナイ、向フデ圓札ヲ持ツテ來ルナラバ、磅デモ弗デモ上海デ何時デモ賣ツテヤル、斯ウサヘ行ツタナラバ是ハ一志二片ノ價格ニ引上ゲルコトモ樂ダシ、其ノ圓札ヲ買收スルコトモ何デモナイノデアリマス、私共左様ナコトモ考ヘタコトガアルノデアリマスガ、何分戰爭ガ何時ニナツテ濟ムヤラ分ラナイ、一旦サウ云フ犧牲ヲ拂ツテ其ノ價值ヲ引上ゲテ見タ所デ、又多額ノ支出ヲスル爲ニ又下ツテ來ルト云フヤウナコトニナツテハ、大事ナ外貨ヲ失フバカリデア

ルト云フ懸念カラ、未ダニ其ノ點ガ出來兼ネテ居ル譯デアリマス、何レ今後何等カノ方法デ、是ハ新シイ中央銀行デモ出來レバ其ノ中央銀行デ發行スル紙幣ニ代ツテ貰フ、又代ツテ貰ツタ其ノ先デハコチラノ外貨ヲ出シテ本邦ニ回收スルトカ、何等カサウ云フ根本的ノ處置ヲ將來ニ於テハ講ゼラルベキモノト考ヘマスケレドモ、差當リソレデハドウモサウ云フ一氣ニ引上ゲルトカ云フヤウナコトガ出來兼ネル事情デアリマス、唯ソレニシテモ放任シテ置キタイト云フ譯デハアリマセヌ、出來ルダケ品物ヲ向フヘ持ツテ行キ、或ハ向フデ集ツタ金ハ本邦ニ回收シテ換金サセルト云フヤウナコトニシテ、サウシテ之ヲ益、アノ方面ニ圓系通貨ガ増大スル、其ノ爲ニ價值ガ下ルト云フコトニナラナイヤウニ、相成ベクハ其ノ數量ヲ段々少クシテ價值ヲ引上ゲタイ、斯ウ云フ方向ニ動イテ居ル譯デアリマス

ソレカラ朝鮮デ金山ヲ賣ツタ代金ハ、一部ヲ外貨デ當時拂ハセテ、殘部ハコチラニ預金ヲシテ置クト云フ約束デアツタノガ、其ノ中一部ノ人ガ三萬圓バカリデアリマシタガ、「トランク」ニ詰メテ、サウシテ密輸出シタ、是ハ取締ノ衝ニ當ツテ居ル私共トシテ洵ニ遺憾ノ極ミデアリマシタケレドモ、色々ノ處置ヲ講ジタ爲ニ、未ダ其ノ金ノ處分ニハ向フデ困ツテ居ルヤウデアリマス、コチラガ困ツテ居ルト云フヨリモ寧ろ密輸出ヲシタ人ノ方ガ困ツテ居ルヤウデアリマスカラ、其ノ點御承知ヲ願ヒマス

○宇賀委員 色々御示シ有難ウ存ジマス、一體日本デ今マデ圓「ブロック」ト云フヤウナ言葉ヲ使ツテ居リマスケレドモ、上海ナドハ圓「ブロック」デスカ、圓「ブロック」ト

言ツテモ北支ト中支ハ何處ガ境デセウカ、
是ハ後學ノ爲ニ承ツテ置クダケデス

○中村政府委員 實際圖「ブロック」ト云フ
ノハ曖昧ナ言葉デゴザイマシテ、上海ガ純然
タル圓「ブロック」デアルトハ認メテ居リマ
セヌ、隨ヒマシテ本邦カラ輸出シタ品物ノ

代金デモ外貨デ決濟サレテ居ルモノモアル
ノデアリマス、磅トカ弗デ決濟サレテ居ル
モノモアルノデアリマス、ソレカラ一應ハ
圓デ決濟サレマシテモ、向フデ輸入シタ人
間ガ更ニ消費者ニ轉賣スル場合ニ、法幣ヲ
對價トシテ賣ル場合モアル譯デアリマス、
ソレ等ヲ漠然ト圓「ブロック」ト云フ言葉デ
片付ケテハ少シ間違ヒガラウト思ヒマス、
併シ此ノ頃ノ上海方面ト本邦トノ輸出入若
クハ貿易外ノ受取トカ、支拂ノ決濟關係ヲ
見マスルト、殆ド大部分ガ日本銀行系統ノ
通貨デ決濟サレテ居リマスノデ、ソレデ圓
「ブロック」ト云フコトヲ漠然ト申シテ居ル
譯デアリマス

ソレカラ北支ト中支トノ通貨ノ分界ガ何
處デアルカ、何處ヲ以テ分界點トシテ居ル
カ、是ハ私ガ申スマデモナク、宇賀サン能
ク御承知ガラウト思ヒマスガ、ソレハ分ラヌ
ノデ、大體聯銀券ガ強制通用力ヲ持ツテ、事
實是ガ通用シテ居ル區域ヲ、先ツ通貨ノ方カ
ラ言ヘバ差當リ北支ト云フヨリ外ナイト思
ヒマス、匪賊ガ出沒シテ居ツテ、聯銀券ノ
流通ヲ禁止シテ、持ツテ居ルモノヲ皆取上
ゲ、剩ヘ處罰ヲスルト云フヤウナ地帯ハド
ウモ地理上カラハ北支ト云フ中ニ入ツタニ
シテモ、通貨ノ關係カラ言ヘバドウモ聯銀
地帯トハ申上ガラナイガラウト思ヒマス、
サウ云フ地帯ハ日ニノ動イテ居ルモノデ
アリマシテ、何處カラ何處マデガ境ダト云

フコトハ一寸申上ゲ兼ネマス
○宇賀委員 私ノ希望スル點ヲ述ベマスレ
バ、餘リ僅カバカリノ金ヲヤカマシク言ハ
ヌヤウニ願ヒタイ、是ハ大藏省令カ何カデ
何百圓トカ云フ制限デアリマスカ、アリマ
セヌカ

○中村政府委員 大藏省令デハ二百圓以下
ハ許可ハ要ラナイコトニナツテ居リマス、
二百圓以上持ツテ入ル場合ニハ許可ヲ要ス
ル、併シナガラ先程モ御話ノアリマシタ通
リ、本邦人ガ所謂圓「ブロック」地域カラ歸
ツテ來ルヤウナ場合ニ、幾ラカ持ツテ居ル
カラト云フテ之ヲヤカマシク言ハウナドト
云フ心持ハ毛頭アリマセヌ、本來ナラバ大
藏大臣ノ許可ヲ要スルト云フ省令デアリマ
スケレドモ、此ノ許可手續ハ出來ル限り簡
便ニシタイト云フコトカラ税關長ニ任セテ
居ル、尙ホ所定ノ申請ノ形式ト云フモノガ
アリマスガ、是モ中ニ記載事項ガ廣汎ニ互
ツテ面倒ニナツテ居リマスガ、旅客ガ攜帶
シテ入ツテ來ルヤウナ場合、殊ニ軍隊其ノ
他大勢ノ方ガ一緒ニ出デニナルヤウナ時
ニハ、ソレノ簡單ナ手續デ済ムヤウニシ
テ居ル譯デアリマス、申スマデモナイコト
デアリマスガ、二百圓以上ダカラ禁ズルト云
フノデハアリマセヌ、其ノ取得シタ徑路デ
アルトカ、輸入スル目的デアルトカ、サウ
云フヤウナモノガ、何等差支ナイモノデアリ
マスレバ、ソレハ何万圓デモ何十万圓デモ
一向ソレヲ止メヨウト云フ心持ハアリマセ
ヌ、現ニ銀行送金等ニ付キマシテハ、金額
ノ如何ニ拘ラズ之ヲ許シテ居ル、ヤカマシ
ク言ツテ居ラスノデアリマス、此ノ取締ニ
付テハ私共モ宇賀サンノ御趣旨ヲ能ク體シ
マシテ細カイモノヲ愚圖々々ヤカマシク言

フヤウナコトノナイヤウニ、此ノ上トモ注
意スル積リデアリマスカラ、左様御承知ヲ
願ヒマス

○鶴委員 只今議題ニナツテ居リマス昭和
九年法律第四十五號中改正法律案外三件ノ
質問打切ノ動議ヲ出シマス

○紫安委員長 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○紫安委員長 御異議ナシト認メマス、ソ
レデハ質問ハ打切ラレマシタ

○小谷委員 明日討論ニ入リマス前ニ興亞
院ノ總務長官ト、興亞院ノ經濟部長ト、外
務省ノ東亞局長ニ三十分バカリ私ノ質問ヲ
御許シ願ツテ、其ノ後討論ニ入ツテ戴キタ
イト思ヒマス、ドウカーツ御願致シマス
○紫安委員長 之ヲ許可致シマス、本日ハ
是ニテ散會致シマス
午後三時十分散會